

未来を創る力を育てる。

楽しい学校生活

[1～6年]

内容紹介

特別活動

学習指導要領 改訂の
ポイント



P.2・3

『楽しい学校生活』に
ついて



P.4～9

『楽しい学校生活』

教師用指導書付録CDについて



P.10

NEW

キャリア・パスポートへの
対応について



P.11

実践事例

学級活動(1) 福岡県直方市立直方北小学校

学級活動(2) 岡山県岡山市立甲浦小学校

学級活動(3) 沖縄県那覇市立松川小学校

学校行事 東京都八王子市立浅川小学校



P.12～29

コラム

世界のTOKKATSUに
ついて



P.30・31



ぶんけい

きみの手に、みらいの夢を。

よりよい自分や学級・学校生活をつくる活動を通して、「社会で生きて働く能力」を育てます。

学習指導要領では、社会に開かれた教育課程の実現を目指し、「何ができるようになるか」という観点から子供の資質・能力の育成を目指すことが示されました。特別活動においても、そのことを踏まえ、小学校、中学校、高等学校の系統性を考慮した目標や内容が設定されています。

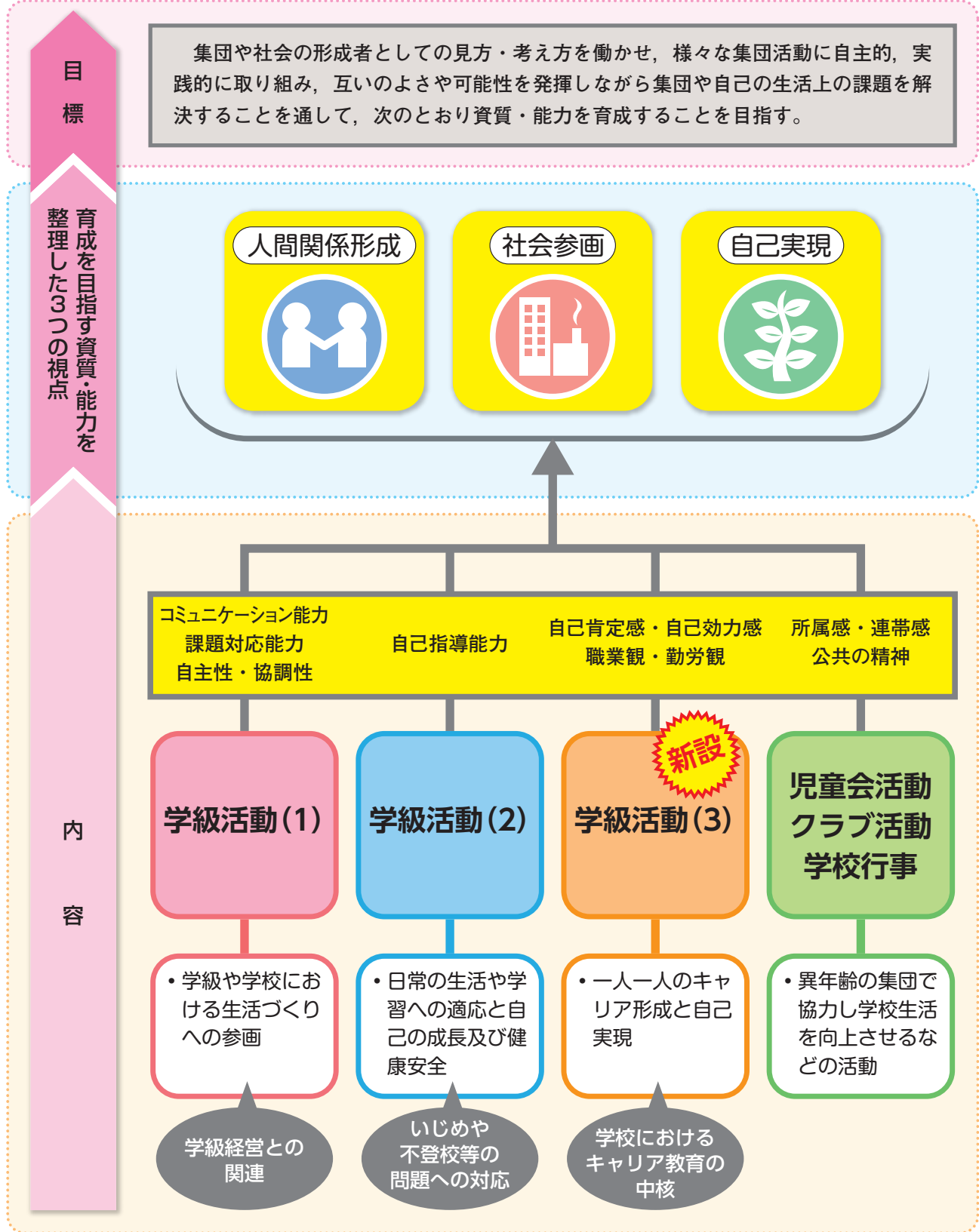
特別活動の改訂のポイント

- 特別活動で育成を目指す資質・能力が「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の3つの視点で整理された。
- 特別活動が学校教育全体を通して行う **キャリア教育の要** としての役割を果たすことが示され、小・中・高等学校のつながりを明確にする視点から、小学校の内容に **学級活動(3)** が新設された。
- 「学級活動における自発的、自治的な活動を中心として学級経営の充実を図ること」、「その際、特にいじめの未然防止等を含めた生徒指導と関連を図ること」が示され、特別活動が **学級経営の充実** に大きな役割を担うことが明記された。

特別活動において育成する資質・能力を整理した3つの視点



特別活動の全体イメージ



全ての児童が楽しく活動するために。
全ての先生方が充実した指導を行うために。

『楽しい学校生活』は日本初、そして世界初の児童向けの特別活動教材です。実生活、実社会の中で生きて働く力を育成する「なすことによって学ぶ」特別活動の全ての内容を、先生の創意工夫を取り入れやすく、手軽に、かつ着実に指導できるよう構成しました。児童の活動の歩み、成長の記録としても活用できます。

『楽しい学校生活1～6年』の5つの特長



1冊で学習と活動の継続的な記録と蓄積が可能です。



6年間の系統的、計画的な学習を実現します。


各学年の発達の段階に合わせて繰り返し指導する内容や、適切な時期を見極めて指導する内容を系統的に学ぶとともに、継続して記録を残していくことができるよう、学年1冊の教材としました。



2

4つの特別活動の内容に完全対応し、かつ多様な教育活動に柔軟に活用できます。

全学年で年間35時間(34時間)行う「学級活動」、「学校行事」、「クラブ活動」(4～6年)、「児童会活動」(5・6年)で構成されている特別活動の全内容を網羅。特別活動以外の日常の多様な学校生活の記録にも活用できます。



●思い出ポケット

4

1冊で学習と活動の継続的な記録と蓄積が可能です。

自己紹介や目標設定を記入するシートや、学期ごとや年度末の振り返りを残すシートを収録し、児童の活動をまとめたポートフォリオとして活用できます。また、巻末の「思い出ポケット」を活用して、記入したプリントなどをファイリングできます。

3


200名以上の先生方の実践に基づいた、実効性の高い指導が手軽にできます。

地域の中核的な立場で特別活動の指導に携わる全国各地の先生方の協力により、内容を精選しました。統計資料や写真、イラストなど、先生方からの「使いたい」「ほしい」の声が多かった情報を掲載し、授業準備の負担を軽減。多様な工夫で、児童の興味・関心を高めます。

5

教師用指導書と付録CD-ROMで、日々の指導をサポートします。

教師用指導書では、縮刷ページや学習指導過程を収録し、各内容の指導の基礎・基本を解説しています。付録CD-ROMには年間指導計画や指導案、カード類、「キャリア・パスポート」活用資料などを豊富に収録しました。



●『楽しい学校生活』の全てが「キャリア・パスポート」の基礎資料として活用できます。

監修者の言葉

使いやすく、立志と振り返りに生かせ、頑張りを残せる児童用教材を

今、「特別活動の力」が改めて見直されています。実際、その充実に取り組んだ学校では、主体的、協働的に学びに向かい、いじめや不登校などの未然防止に取り組む児童や集団へと変わり、結果として教育課題の解決にもつながっているのです。今般の学習指導要領・特別活動の改訂は、このことを明確に裏付けています。「学級経営や

生徒指導、道徳教育などでの中心的な役割」「キャリア教育の要の時間」としての期待が強く反映されています。

そして、何より、コンピテンシーベースで教育課程改革が行われた中で、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」などの汎用的な能力は、特別活動において育成されることが示唆されました。



國學院大學教授／前文部科学省初等中等教育局視学官
杉田 洋

だからこそ、エジプトやモンゴル国などの海外の国々も、全人教育としての日本式教育の象徴として「TOKKATSU」の導入を目指しているのです。

しかし、これまで教科書等のない特別活動は、指導方法などが確立されておらず、これらの期待に十分に答えられていませんでした。それが、私に関わって作成した『特別活動指導資料 小学校編』(2014年 文部科学省／国立教育政策研究所)が広く普及したことにより、その状況は一変しました。全国どここの学校でも、基本的な指導を行えるようになったのです。そのとき、この効果をより確かなものにするためには、「児童用の教材が必要だ……」と痛感しました。

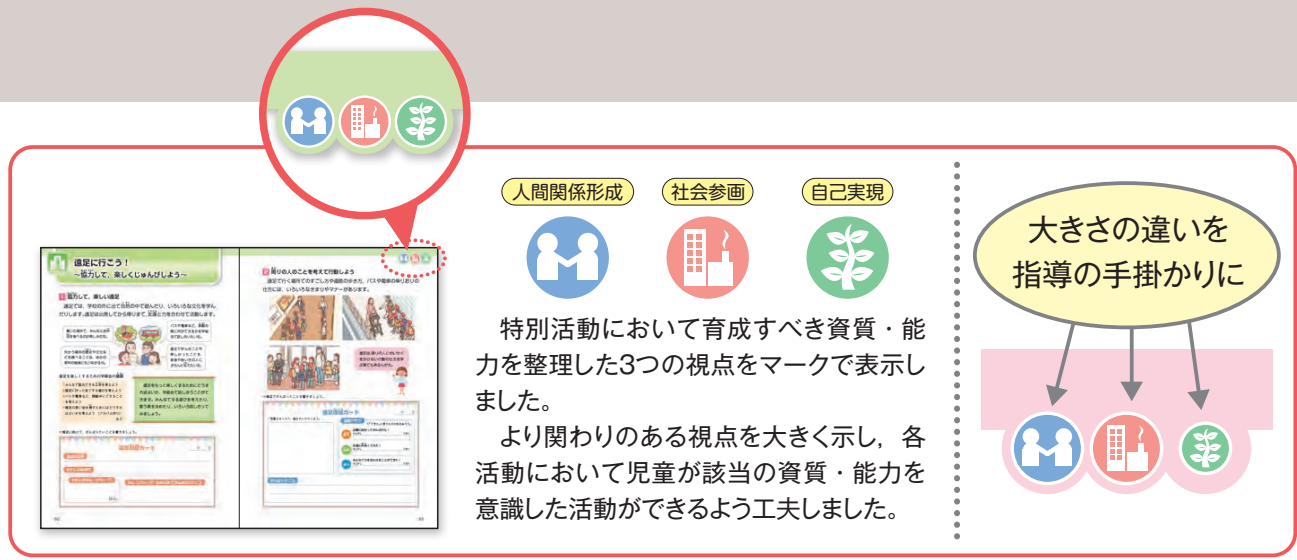
そこで、このたび、国が作成した指導資料と一体的な内容であり、「特別活動の指導と評価が残る」、小学校学習指導要領で新設された学級活動(3)での「キャリア形成のための立志と振り返りに生かせる」等々を実現する児童用教材を作成しました。

この教材を児童が6年間継続して活用することにより、小学校時代に何を目指し、どんなことを頑張ってきたのかが目に見える、「自分史」を残すことができます。ぜひ貴校での継続的な活用をお勧めします。

特別活動の4つの内容×「授業準備→授業→実践→振り返り・事後指導」を徹底的にフォロー。
無駄なく無理なく活用していただけます。

『楽しい学校生活』は、学習指導要領において年間35時間（1年は34時間）と授業時数が定められている「学級活動（1）～（3）」を中心に、「児童会活動」「クラブ活動」「学校行事」の4つの内容全てに対応しています。

準備から事後指導まで、また児童の実践の記録用、教師の指導用とマルチに活用できます。



学級活動(1)

★よりよい話し合い、より充実した活動を行うためのガイドブック、マニュアルとして



学級での生活をより楽しくするために、学級会で児童がみんなで話し合ったり、係活動や集会活動で活動したりする際に役立つ知識や工夫を、児童に分かりやすい言葉でまとめました。

〈活用場面の例〉

- 事前、計画委員の児童が話し合いの計画を立てるときに参考にする。
- 話し合いの途中で、様々な合意形成の仕方を確認する。
- 係活動
- 休み時間に係の活動を充実するための工夫を調べる。
- 集会活動
- 年度当初のオリエンテーション用の教材として活用する。

学級活動(2)

★指導用のテキスト、資料集として
★活動用のワークブック、記録帳として



生徒指導、人間関係形成、防災・安全教育、食育などの指導を準備の負担を少なく実施できるよう、統計資料や写真を豊富に掲載しました。児童が意思決定したことや、その実践を記録することもできます。

〈活用場面の例〉

- 授業中
- 授業の流れの例
- ① 自分や学級にある生活の問題を知り、学級全体で共有する。
- ② 共有した問題の原因について話し合い、生活を改善する方法を考える。
- ③ 生活の改善のための自分のめあてを意思決定して実践する。

学級活動(3)

★キャリア教育の手引きとして
★自己実現を目指す姿をつづる自分史として



自分のよいところを伸ばす努力をする方法を考え、意思決定したこととその活動状況を記録し、職業観・勤労観や自己実現に必要な力を育成します。新たに設置された学級活動(3)の指導の流れが分かります。

〈活用場面の例〉

- 授業中
- 授業の流れの例
- ① 現在の自分がどのような状態であるか、一人一人が気付く。
- ② になりたい自分の姿について話し合い、目標に近付くための方法を考える。
- ③ 目標に近付くための自分のめあてを意思決定して実践する。

児童会活動 クラブ活動 学校行事

★振り返りのためのポートフォリオとして
★オリエンテーション資料として



様々な行事や児童会、クラブ活動のオリエンテーションや、事前事後の活動記録、振り返りに活用できます。

〈活用場面の例〉



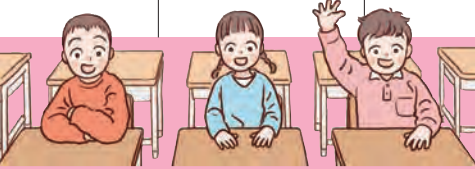

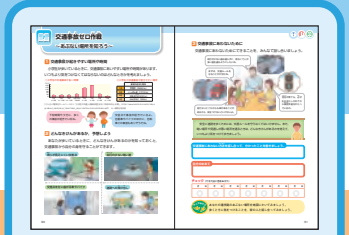



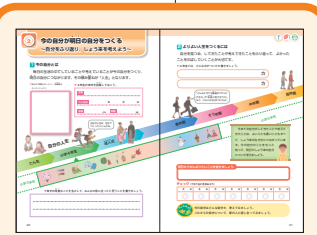

- 学校行事
- 遠足の事前に、遠足に行った先でのマナーや、道路の歩き方、バスの乗り方などを指導する。
- 運動会の事後に、自分の役割を果たしたことや、友達と協力できたことを記入する。
- 児童会活動
- 委員会に所属する際に、様々な委員会の活動内容を知る。
- クラブ活動
- 初回の活動で、クラブの活動計画を立て、1時間の活動の流れを確認する。

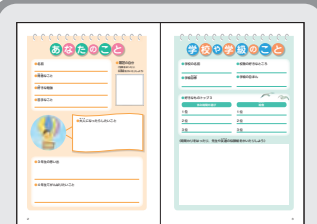


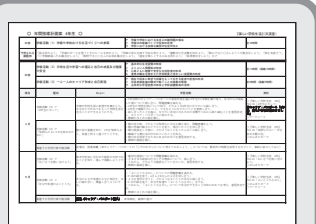
『楽しい学校生活』
活用カレンダー
(4年生の例)

「こんな議題で学級会をやってみよう」を参考に計画委員が議題の絞り込みを行い、みんなで「雨の日の過ごし方を考えよう」について話し合いをしました。



実践校の1年間を参考に、教材をどの時期に、どのような場面で、どのように活用しているのかをまとめました。教材としての活用のみならず、児童の実態把握、日常の指導や保護者とのコミュニケーション等に加え、初任者研修、校内研修などでも活用されています。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
学級活動(1)	学級会(年間20単位時間)			6・7								
学級活動(2)	気持ちのよい1日 を始める朝の会 (ア) 18・19	あいさつを使い分 けよう(ア) 20・21 よいところさがし(イ) 26・27	物を大切にしよう (ア) 22・23	交通事故ゼロ作戦 (ウ) 30・31	 <p>夏休みに向けて、交通安全についての指導を行い、自分の生活の中で気を付けることを決めて、実践しました。</p>	地しんにそなえて(ウ) 32・33 友達を大切にする 「ふわふわ言葉」(イ) 24・25	楽しくおいしい給 食(エ) 34・35		見すぎ、やりすぎ SOS!(ウ) 28・29	食べ物の働きを知 ろう(エ) 36・37		
学級活動(3)	4年生になって (ア) 38・39		知りたい 調べた い 分かりたい (ウ) 44・45	 <p>事前にめあてを決めて記入し、事後には、めあてに即して振り返りを行いました。</p>	どうして勉強する のかな(ウ) 46・47	ピカピカそうじ大 作戦(イ) 42・43	今の自分が明日の 自分をつくる(ア) 40・41	 <p>「キャリア・パスポート」に記入させるために、1年間の成長を振り返ったり将来について考えたりできるように活用しました。</p>				
学校行事 児童会活動 クラブ活動等	始業式 授業参観 クラブ編成 58・59	遠足 52・53 身体測定 縦割り班遊び	歯磨き教室 避難訓練 授業参観	安全教室 七夕集会 終業式 夏季休業		始業式 防災訓練	運動会 50・51 授業参観	避難訓練 学習発表会 54・55	持久走大会 終業式 大掃除 冬期休業	始業式 授業参観	豆まき集会	6年生を送る会 修了式 学年末休業 代表委員会オリエン テーション 56・57 クラブ発表会

先生の一年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		あなたのこと 学校や学級のこと 2・3	 <p>児童の自己紹介ページなどを、実態把握に役立てました。</p>				学級生活を記録しよう 62・63	 <p>児童の一学期の振り返りを基に、保護者面談をしました。</p>		 <p>来年度に向けて、学級活動の年間指導計画を改善しました。</p>		年間指導計画 CD-ROM 教師用	

明日の指導に，計画づくりに役立つ 豊富な文書ファイルを収録。

教師用指導書付録CDには，特別活動の**年間指導計画案**，**指導案**，**振り返りカード**など，
計画作成や指導に役立つ多様な文書ファイルを収録しています。「**キャリア・パスポート**」
を**活用**するために必要な指導計画，サンプルファイルなどを追加。学校や児童の実態
に合わせ，指導の充実にお役立てください。

指導案 1～6年

●学級活動(2)
●学級活動(3)

第4学年 組 学級活動(3) 指導案

題材	4年生になって 4年生になって ～なりたい自分になるために～	出席	
内容	ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 学級や学校での生活づくりに主体的に関わり，自 希望や目標をもつ。その実現に向けて日常の生活で ねらい 学級や学校生活に希望や目標をもつ。自分なりのめ とができるようにする。	出席	

導入(つかい)

学習活動(主な発問と予想される児童の反応)

- 3年生の1年間を振り返り，自分たちの成長につ
いて話し合う。
○3年生のときに頑張ったことやできるようになっ
たことは，どのようなことがあつたか。
・授業で分らなかったことを自分で調べるよう
になったこと。
・係活動で学級のために工夫して活動すること
ができたこと。
・友達と協力して学習発表会を成功させたこと。
- 4年生の学校生活について話し合う。
○4年生になると，どのような学習や活動が始ま
りますか。それらに対し，どのように取り組ま
いでしょうか。
・クラブ活動が始まるから，とても楽しみ。
・仲よし遊びで，ペア学習の2年生のリーダーに
なり，まわられるようになりたい。
3.4年生が味わったときの，理想の自分の姿につ
いて話し合う。
○来年度の3月に，どのような4年生になりたい
ですか。そのために，どのようなことを頑張
りたいでしょうか。
・下級生に優しく接することができる4年生。目
頃から下級生に声を掛けたり自分から挨拶し
たりすることを頑張りたい。
・自分のことは，自分でできるように4年生。
めあてを立てたり，5分間行動をしたりするこ
とが大切だと思う。
- 理想の自分になるための目標やこれらを取り組
みたいことを意思決定する。
○なりたい自分に近づくために，どのようなこと
を頑張りたいですか。

振り返り

4年生になって
4年生になって
～なりたい自分になるために～

振り返り

4年生になって
4年生になって
～なりたい自分になるために～

年間指導計画案 1～6年

第4学年 組 学級活動(3) 指導案

題材	4年生になって 4年生になって ～なりたい自分になるために～	出席	
内容	ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 学級や学校での生活づくりに主体的に関わり，自 希望や目標をもつ。その実現に向けて日常の生活で ねらい 学級や学校生活に希望や目標をもつ。自分なりのめ とができるようにする。	出席	

導入(つかい)

学習活動(主な発問と予想される児童の反応)

- 3年生の1年間を振り返り，自分たちの成長につ
いて話し合う。
○3年生のときに頑張ったことやできるようになっ
たことは，どのようなことがあつたか。
・授業で分らなかったことを自分で調べるよう
になったこと。
・係活動で学級のために工夫して活動すること
ができたこと。
・友達と協力して学習発表会を成功させたこと。
- 4年生の学校生活について話し合う。
○4年生になると，どのような学習や活動が始ま
りますか。それらに対し，どのように取り組ま
いでしょうか。
・クラブ活動が始まるから，とても楽しみ。
・仲よし遊びで，ペア学習の2年生のリーダーに
なり，まわられるようになりたい。
3.4年生が味わったときの，理想の自分の姿につ
いて話し合う。
○来年度の3月に，どのような4年生になりたい
ですか。そのために，どのようなことを頑張
りたいでしょうか。
・下級生に優しく接することができる4年生。目
頃から下級生に声を掛けたり自分から挨拶し
たりすることを頑張りたい。
・自分のことは，自分でできるように4年生。
めあてを立てたり，5分間行動をしたりするこ
とが大切だと思う。
- 理想の自分になるための目標やこれらを取り組
みたいことを意思決定する。
○なりたい自分に近づくために，どのようなこと
を頑張りたいですか。

振り返り

4年生になって
4年生になって
～なりたい自分になるために～

振り返り

4年生になって
4年生になって
～なりたい自分になるために～

学級活動 年問題材配列表

学年	1	2	3	4	5	6
学級活動(1)						
学級活動(2)						
学級活動(3)						
児童会活動						
クラブ活動						
学校行事						

活動計画カード，振り返りカードなど 1～6年

4年生 組 学級活動(3) 指導案

題材	4年生になって 4年生になって ～なりたい自分になるために～	出席	
内容	ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 学級や学校での生活づくりに主体的に関わり，自 希望や目標をもつ。その実現に向けて日常の生活で ねらい 学級や学校生活に希望や目標をもつ。自分なりのめ とができるようにする。	出席	

導入(つかい)

学習活動(主な発問と予想される児童の反応)

- 3年生の1年間を振り返り，自分たちの成長につ
いて話し合う。
○3年生のときに頑張ったことやできるようになっ
たことは，どのようなことがあつたか。
・授業で分らなかったことを自分で調べるよう
になったこと。
・係活動で学級のために工夫して活動すること
ができたこと。
・友達と協力して学習発表会を成功させたこと。
- 4年生の学校生活について話し合う。
○4年生になると，どのような学習や活動が始ま
りますか。それらに対し，どのように取り組ま
いでしょうか。
・クラブ活動が始まるから，とても楽しみ。
・仲よし遊びで，ペア学習の2年生のリーダーに
なり，まわられるようになりたい。
3.4年生が味わったときの，理想の自分の姿につ
いて話し合う。
○来年度の3月に，どのような4年生になりたい
ですか。そのために，どのようなことを頑張
りたいでしょうか。
・下級生に優しく接することができる4年生。目
頃から下級生に声を掛けたり自分から挨拶し
たりすることを頑張りたい。
・自分のことは，自分でできるように4年生。
めあてを立てたり，5分間行動をしたりするこ
とが大切だと思う。
- 理想の自分になるための目標やこれらを取り組
みたいことを意思決定する。
○なりたい自分に近づくために，どのようなこと
を頑張りたいですか。

振り返り

4年生になって
4年生になって
～なりたい自分になるために～

振り返り

4年生になって
4年生になって
～なりたい自分になるために～

NEW

「キャリア・パスポート」の具体的な活用方法を年間指導計画，指導案に示しました。

「キャリア・パスポート」を特別活動の中で，いつ，どのように活用するのかを具体的に示しました。全学年
分の書き換え可能な児童用様式例，記入例など指導に役立つファイルも多数収録します。

年間指導計画案

キャリア・パスポート対応

1～6年

X

指導案

キャリア・パスポート対応

1～6年

W

第4学年 組 学級活動(3) 指導案

題材	4年生になって 4年生になって ～なりたい自分になるために～	出席	
内容	ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 学級や学校での生活づくりに主体的に関わり，自 希望や目標をもつ。その実現に向けて日常の生活で ねらい 学級や学校生活に希望や目標をもつ。自分なりのめ とができるようにする。	出席	

導入(つかい)

学習活動(主な発問と予想される児童の反応)

- 3年生の1年間を振り返り，自分たちの成長につ
いて話し合う。
○3年生のときに頑張ったことやできるようになっ
たことは，どのようなことがあつたか。
・授業で分らなかったことを自分で調べるよう
になったこと。
・係活動で学級のために工夫して活動すること
ができたこと。
・友達と協力して学習発表会を成功させたこと。
- 4年生の学校生活について話し合う。
○4年生になると，どのような学習や活動が始ま
りますか。それらに対し，どのように取り組ま
いでしょうか。
・クラブ活動が始まるから，とても楽しみ。
・仲よし遊びで，ペア学習の2年生のリーダーに
なり，まわられるようになりたい。
3.4年生が味わったときの，理想の自分の姿につ
いて話し合う。
○来年度の3月に，どのような4年生になりたい
ですか。そのために，どのようなことを頑張
りたいでしょうか。
・下級生に優しく接することができる4年生。目
頃から下級生に声を掛けたり自分から挨拶し
たりすることを頑張りたい。
・自分のことは，自分でできるように4年生。
めあてを立てたり，5分間行動をしたりするこ
とが大切だと思う。
- 理想の自分になるための目標やこれらを取り組
みたいことを意思決定する。
○なりたい自分に近づくために，どのようなこと
を頑張りたいですか。

振り返り

4年生になって
4年生になって
～なりたい自分になるために～

振り返り

4年生になって
4年生になって
～なりたい自分になるために～



第4学年 組 学級活動(3) 指導案

題材	4年生になって 4年生になって ～なりたい自分になるために～	出席	
内容	ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 学級や学校での生活づくりに主体的に関わり，自 希望や目標をもつ。その実現に向けて日常の生活で ねらい 学級や学校生活に希望や目標をもつ。自分なりのめ とができるようにする。	出席	

導入(つかい)

学習活動(主な発問と予想される児童の反応)

- 3年生の1年間を振り返り，自分たちの成長につ
いて話し合う。
○3年生のときに頑張ったことやできるようになっ
たことは，どのようなことがあつたか。
・授業で分らなかったことを自分で調べるよう
になったこと。
・係活動で学級のために工夫して活動すること
ができたこと。
・友達と協力して学習発表会を成功させたこと。
- 4年生の学校生活について話し合う。
○4年生になると，どのような学習や活動が始ま
りますか。それらに対し，どのように取り組ま
いでしょうか。
・クラブ活動が始まるから，とても楽しみ。
・仲よし遊びで，ペア学習の2年生のリーダーに
なり，まわられるようになりたい。
3.4年生が味わったときの，理想の自分の姿につ
いて話し合う。
○来年度の3月に，どのような4年生になりたい
ですか。そのために，どのようなことを頑張
りたいでしょうか。
・下級生に優しく接することができる4年生。目
頃から下級生に声を掛けたり自分から挨拶し
たりすることを頑張りたい。
・自分のことは，自分でできるように4年生。
めあてを立てたり，5分間行動をしたりするこ
とが大切だと思う。
- 理想の自分になるための目標やこれらを取り組
みたいことを意思決定する。
○なりたい自分に近づくために，どのようなこと
を頑張りたいですか。

振り返り

4年生になって
4年生になって
～なりたい自分になるために～

振り返り

4年生になって
4年生になって
～なりたい自分になるために～

指導用資料各種

1～6年

W

PDF



- 書き換え可能な児童用様式例
- 記入例
- など，指導に役立つ資料を提供します。



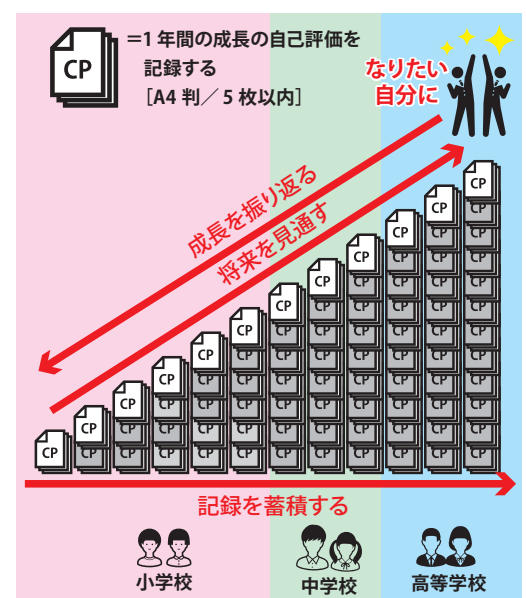
「キャリア・パスポート」について

「キャリア・パスポート」は，**学習指導要領の学級活動(3)**の「内容の取
扱い」の中で「学校，家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て，
学んだことを振り返りながら，新たな学習や生活への意欲につなげたり，
将来の生き方を考えたりする活動を行うこと。その際，児童が活動を記
録し蓄積する教材等を活用すること。」と示された「教材」に該当します。

「児童生徒が，**小学校から高等学校までのキャリア教育**に関わる諸活動
について，特別活動の学級活動及びホームルーム活動を中心として，各
教科等と往還し，**自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返つた
りしながら，自身の変容や成長を自己評価**できるよう工夫されたポートフォ
リオのこと」と定義されており，その記述や自己評価の指導に当たっては
教師の対話的な関わりが不可欠です。

- 「キャリア・パスポート」の名称や書式は自治体によって異なる可能性
があります。
- 記録する時間は，学級活動(3)以外にも，教科等や学校行事，「朝
の会」「帰りの会」などを充てることとされています。

「キャリア・パスポート」のイメージ



実践事例

児童一人一人が『楽しい学校生活』を持ち、特別活動の4つの内容の着実な指導、活動に取り組んだ事例を紹介しします。学校の特色を踏まえ、児童の実態に基づき、保護者や地域の思いや願いを生かした特別活動に、『楽しい学校生活』が活用されています。

学級活動(2)

岡山市立甲浦小学校

相手を意識した言葉遣いについて話し合い、よりよい人間関係の形成につながった3年の事例です。

藤林沙耶 先生

17ページ

学級活動(1)

直方市立直方北小学校

男女がより仲よくなるための工夫をした集会の実践を通して、自治的能力を高めた5年の事例です。

西村仁志 先生

13ページ

福岡県

岡山県

東京都

沖縄県

学級活動(3)

那覇市立松川小学校

清掃の意義を知り、自分でめあてを決めたことから主体的に活動するようになった4年の事例です。

我那覇ゆり子 先生

21ページ

学校行事

八王子市立浅川小学校

児童一人一人が活躍できるよう、学校全体で系統的に運動会の指導に取り組んだ事例です。

清水弘美 先生

25ページ

学校紹介 インタビュー

【福岡】



福岡県直方市立直方北小学校教諭
西村仁志先生

5年 学級活動(1)

学級生活の充実と向上を図るため、 みんなで話し合い、実践し、振り返る

「男女関係なく楽しいドッジボール大会をしよう」

学級活動(1) ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

『楽しい学校生活』を活用することで、学級の自治的な活動を充実することができます。また、児童が自ら活動や話し合いの進め方、実践までの流れを調べて体得していくことで、主体的に学級生活をよりよくしていく力が身に付きます。

実践者 Interview

『楽しい学校生活』を 導入したきっかけは？

特別活動は「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせながら様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、課題を解決することに大きな意義があります。特別活動で育成すべき資質・能力を確実に育成するために導入しました。

『楽しい学校生活』を どのように活用していますか？

年度初めに学級会のオリエンテーションを開きました。自治的な活動の経験が少ない児童が多いので、学級活動の目的や内容、方法について伝えることができました。

特に、計画委員会と議題の選定や活動計画の作成、学級会の進め方などの指導を行う際に活用しています。

今回紹介いただく 実践のポイントは？

5月下旬に行われた運動会の振り返りに『楽しい学校生活』を活用しました。その振り返りの「6年生のように男女と一緒に目標に向かって頑張ることができる」という問題を解決する実践です。自治的な活動の経験が浅い児童が自分たちで問題を解決しようとする姿をご覧ください。

『楽しい学校生活』を導入以降、 どのような変化がありましたか？

自治的な活動の経験が浅い学級では、指導を重ねて12月ごろようやく自分たちで計画委員会を進行したり、学級会を進めたりすることができるようになります。

しかし、『楽しい学校生活』を導入したクラスでは、1学期の後半ごろから教材を活用しながら自主的に活動する姿が見られるようになりました。

【学校情報】



福岡県直方市立直方北小学校

- 創立：1914年(大正3年)
- 校長：塩田昌伸 先生
- 児童数：356名
- 学級数：15学級
- 教育目標：かしこく やさしく たくましく 生きる子どもの育成
- 学校の特色：市内で小中一貫教育を推進しており、9か年を見通した学校教育の充実を目指している。

Fukuoka



実践紹介

ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

男女関係なく楽しいドッジボール大会をしよう



●ねらい

事前、学級会、事後の一連の活動を通して、学級の生活上の諸問題を解決し、自治的能力を高める。

使用教材 『楽しい学校生活5年』(文溪堂)

「話し合い」と「聞き合い」10・11ページなど

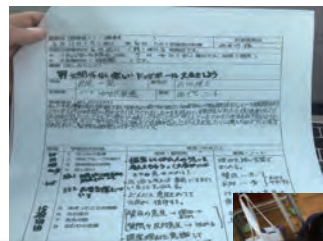
1 事前の活動

議題や話し合いの進め方の理解

📖 6-9 ページ

全員で議題を承認した後、計画委員会を中心に学級会の進め方の計画を立てます。

作成した計画は、拡大して教室内に掲示したり、個別に配布したりして議題に対する意識を高めます。



計画委員会で話し合いの活動計画を立てておくと、学級会で困らないね。



★学級会ノートに自分の考えをまとめ、学級会に臨むようにする。議題に対する自分の立場を明確にしておくと、学級会により意欲的に参加することができる。

計画委員会の進め方などで分からないことがあったら、『楽しい学校生活』を参考にできるようにしました。

2 出し合う

解決方法等の話し合い①

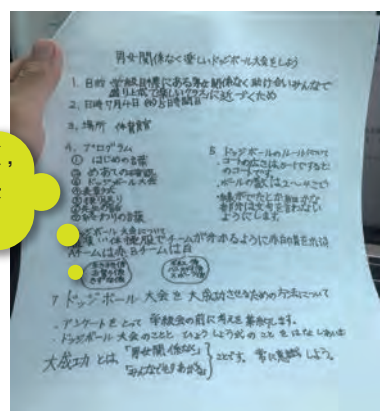
📖 10-13 ページ ⌚ 5分

一人一人の思いや願い、考えを大切にしながら「話し合うこと」について自分の意見を出し合います。それぞれの意見に耳を傾け、学級会の全体像を把握します。

司会 意見はありますか？

A児 僕は「外野から内野に入るときにハイタッチをする」がいいと思います。

学級会では「男女関係なく、みんなで盛り上がる」工夫について話し合うよ。



★時間や場所、プログラムなど、事前に「決まっていること」を示した実践の活動計画を作成しておく。また、話し合う内容についても焦点化しておく。

話し合いの進め方や意見の言い方に悩んだときに、『楽しい学校生活』を開いて、確認してよいことを伝えました。

3 くらべ合う

解決方法等の話し合い②

📖 10-13 ページ ⌚ 15分

よりよい解決方法を見つけるために、質疑応答を通して意見を確認めたり、賛成や反対など立場を明らかにしたりします。

司会 ハイタッチをする意見について質問や意見、付け加えなどはありませんか？

B児 A児さんに質問です。ハイタッチは内野に入るとき、全員にしますか？

A児 ハイタッチは、内野にいる全員にしたほうがいいと思います。

C児 全員にすると、時間も掛かるし、ドッジボールが楽しめないと思います。

D児 今回の目的は「男女関係なく楽しめること」ですよね？ それなら、男女一人ずつとハイタッチするのはどうですか？

A児 僕も、内野に入るときに、男女一人ずつとハイタッチをすると提案理由も達成できるからいいと思います。

★心配や不安、実践に向けた不明確なことを質問して確認し合いながら、実践につながる話し合いにする。



話し合いで困ったときは、こういうふうに言えばいいんだね。

『楽しい学校生活』に掲載されているように、賛成や反対の意見を言うときには、理由も付けて話すことができるようにしました。

4 まとめる(決める)

解決方法の決定

📖 10-13 ページ ⌚ 5分

「くらべ合う」で話し合ったことを基に、みんなの考えをまとめ、合意形成を図る。

司会 「外野から内野に入るときにハイタッチをする」意見について、ほかに質問や意見、付け加えなどはありませんか？

全員 ありません。解決したので大丈夫です。

司会 意見が出尽くしたようなので、「外野から内野に入るときにハイタッチをする」意見は、「最低で男女一人ずつとする、できない場合は無理してしないでいいけれど、なるべく頑張ってハイタッチすること」に決定します。

全員 はい！

★自分と異なる意見や少数意見も尊重するよう助言する。

★安易に多数決で決定することがないよう、よさを生かし合いながら合意形成できるようにする。



みんなの考えが生かされた意見に決まったね。

意見のまとめ方について困ったときは、『楽しい学校生活』を見るよう助言しました。

集団思考とロールプレイを通して、

児童の自己指導能力を高める

『ふわふわ言葉』をいっぱい使おう

学級活動(2) イ よりよい人間関係の形成



岡山市立甲浦小学校 教諭

藤林沙耶 先生

『楽しい学校生活』に意思決定しためあてを記入して、振り返る活動を積み重ねることで、児童が自分の成長を感じ、意欲を高めて、実践や活動に取り組むことができるようになりました。

実践者

Interview

『楽しい学校生活』を導入したきっかけは？

『楽しい学校生活』を活用することで、児童が活動に対するめあてをもち、それに向けて努力できるようにしたり、振り返りを行い、次の活動への意欲を高めたりすることが可能になり、学校目標である「夢や目標に向かってねばり強く努力する子ども」の実現に近付くことができました。

今回紹介いただく実践のポイントは？

年度当初から学級目標である「やさしい3年2組」を目指して取り組んできましたが、友達にきつい口調で注意したり、指摘したりする児童が何人か見受けられました。そこで、相手の気持ちを考えて言葉を選ぶことができる児童を育てたいと思い、今回の実践を行いました。

『楽しい学校生活』をどのように活用していますか？

運動会の前には『楽しい学校生活』を使って、学級や自分のめあて、自分の役割を決めて書き込むことで、児童の意欲を高めて活動に取り組むことができています。また、運動会が終わった後には、頑張ったことを書く欄を使って丁寧に振り返りをさせることで、自己有用感を高めるとともに次の活動の改善へとつなげています。

『楽しい学校生活』を導入以降、どのような変化がありましたか？

避難訓練の際に『楽しい学校生活』を活用して自分のめあてを考え、振り返りを行う学習を行って以降、児童はめあてを意識しながら活動することができるようになってきました。そのときはめあてが達成できなかった児童も、次回は達成できるように取り組もうとする意欲をもつことができています。

【学校情報】



おか やま けん おか やま し りつ こう うらしょう がっ こう

岡山県岡山市立甲浦小学校

●創立：1873年(明治6年)

●校長：今中敏夫 先生

●児童数：229名

●学級数：9学級+特別支援4学級

●教育目標：夢や目標に向かってねばり強く努力する子どもの育成

●学校の特色：豊かな自然に囲まれており、全校で縦割り班をつくり山や海で「なかよし活動」に取り組んでいる。「きらりカード」を交換して友達のよさを認め合う活動を大切にしている。

- ドッジボール大会の目的は達成できたと思います。理由は、男女関係なく円陣をしたりハイタッチをしたりできたし、女子は男子と、男子は女子といつもよりたくさん関わっていたと思うからです。今度集会をやるときはもっと男女関わるようにしたいです。
- 今の5-1は十分仲がよいと思っていたけれど、集会を通してもっと仲よくなれることを学びました。今回の男女の仲のよさを、普段の生活にも生かしていきたいです。

みんなで話し合って決めた「円陣を組むときには男女交互でみんなで組む」で楽しく活動をスタート。



内野から外野へ移動するときは、男女でハイタッチ。



振り返りで書かれた活動での学びを、今後の学校生活につなげるように指導していく。

文庫で振り返りしよう。

・目的は達成できたか、その理由、・今回の活動にむける課題、・残った友達へのよき、・学んだこと、・生活にいかしたいこと。

目的は、達成できました。理由は、いつも関わっていた男子とも関わることができたし、男子は女子と、女子は男子と、いつもよりたくさん関わっていたと思うからです。見つけた友達へのよきは、男子は女子と、女子は男子と、いつもよりたくさん関わっていたと思うからです。見つけた友達へのよきは、男子は女子と、女子は男子と、いつもよりたくさん関わっていたと思うからです。

「ふわふわ言葉」をいっぱい使おう



●ねらい

自分たちが普段使っている言葉には、相手をよい気持ちにする「ふわふわ言葉」と、相手を嫌な気持ちにする「ちくちく言葉」があるということに関心をもち、相手のことを考えた言葉遣いをする。

使用教材 『楽しい学校生活3年』(文溪堂)

「ふわふわ言葉」をいっぱい使おう」24・25ページ

1 つかむ

課題の把握

24ページ 5分

学級の中には言われて気持ちのよい言葉と、嫌な気持ちになる言葉があることを知る。

◎今までに言われてうれしかった「ふわふわ言葉」には、どのようなものがありますか。

- ・「ありがとう」と言われてうれしかった。
- ・「大丈夫」と声を掛けてくれて心強かった。

◎言葉は言われて気持ちのよい「ふわふわ言葉」ばかりですか。

- ・言われて嫌な気持ちになる言葉もある。
- ・ちくちく言葉もある。



『楽しい学校生活』を活用して、言葉遣い一つで学級の雰囲気や人間関係が変わることに気付かせました。

2 さぐる

原因の追求

24ページ 15分

自分の学級の中にある「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」を出し合って、自分の言葉遣いを振り返る。

- ◎「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」には、どのようなものがありますか。
- ・「ありがとう」「頑張って」「大丈夫」
 - ・「嫌い」「ずるいな」「きもい」

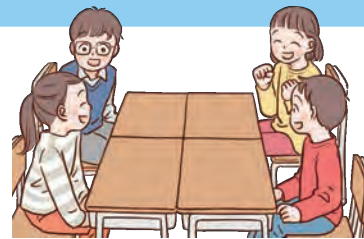


いつも学級で使っている言葉がたくさんあるね。

失敗したときに、「下手だな」と言われたら悲しい気持ちがするよ。



同じ状況や場面でも、言われてうれしい言葉がある一方で、嫌な言葉もあることを、『楽しい学校生活』のイラストを見て、確認しました。



3 見つける

意見交換

25ページ 20分

実際にペアで「ふわふわ言葉」を言われたり、言ったりする活動(ロールプレイ)をしたり、「ちくちく言葉」を言われたときの気持ちを想像したりして話し合う。

- ◎「失敗したとき」に言われてうれしい気持ちになる「ふわふわ言葉」を隣の人と伝え合ひましょう。そのとき、どのような気持ちになりましたか。
- ・「次は頑張ろう」と言われて元気になったよ。
 - ・「大丈夫」と言われて気持ちが楽になった。

- ◎「ちくちく言葉」を言われたことを思い出してみよう。そのとき、どのような気持ちになりましたか。
- ・悲しかった。
 - ・嫌な気持ちになった。



ふわふわ言葉を使うと、相手も自分もいい気持ちになりました。

『楽しい学校生活』24ページに掲載されている「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」を用いたロールプレイを取り入れ、感想を交流させました。

4 決める

意思決定

25ページ 5分

これから、どのような言葉を使っていくか「自分のめあて」を決める。

- ◎「ふわふわ言葉」を増やすために、自分のめあてを決めて、発表しましょう。



★具体的な意思決定ができるようにする。

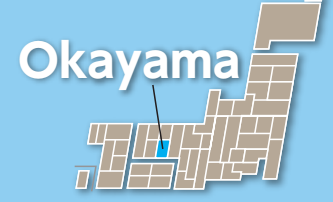
★互いの頑張りについて励まし合えるようにする。

意思決定したことを『楽しい学校生活』CDに収録されているワークシートに記録させました。



これから1週間、めあてで決めた言葉を使って生活してみましょう。

ポートフォリオ & 成果紹介



成果

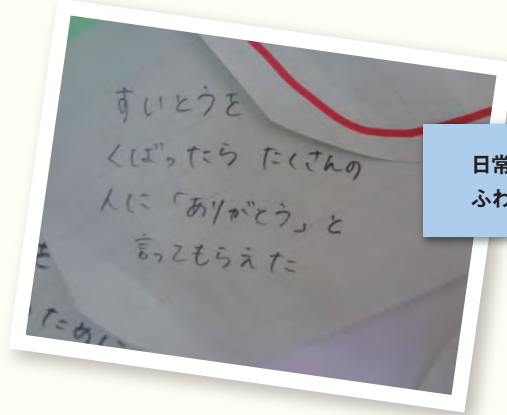
本実践を通して、「ふわふわ言葉」をたくさん使おうという意欲をもつ児童が増えた。帰りの会で行っている「優しさの花を咲かせよう」という友達の優しさを見つける活動では、「友達が『ありがとう』と言ってくれた」「遊びに誘ってくれた」など、「ふわふわ言葉」を使っている様子を発表する児童が増えた。

課題

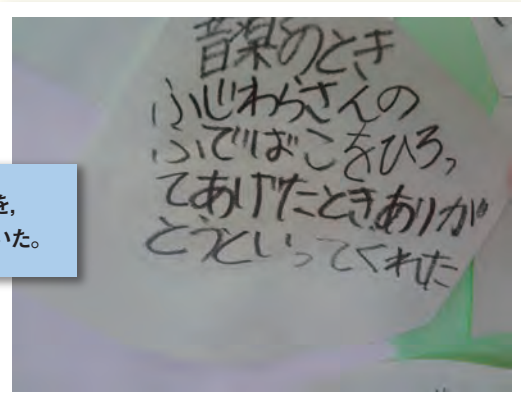
まだ意識せずに乱暴な言葉を使っている児童もいるので、場面を想定したロールプレイなどを取り入れた指導を行いたい。

児童の記録

- ちくちく言葉を使うと相手が悲しい気持ちになるから、その言葉を使うと相手がどんな気持ちになるかをよく考えて声を掛けるように気を付けたい。
- 周りを見て困っている人がいたら声を掛けたり、一人でいる人がいたら「一緒に遊ぼう」と誘ったりして、ふわふわ言葉を増やしていきたい。



日常生活の中で自然と「ありがとう」などのふわふわ言葉を使っている児童が増えた。



友達からふわふわ言葉が返ってきた喜びを、友達の優しさを見つける取組で紹介していた。



児童が書いたふわふわ言葉とちくちく言葉を教室に掲示して、いつでも確認できるようにしている。



学校紹介 インタビュー 【沖縄】

4年 学級活動(3)

「なりたい自分」を目指して 協力する力、実践する力を育てる



沖縄県那覇市立松川小学校 教諭
我那覇ゆり子 先生

「どうしてそうじをするのかな？」
学級活動(3) イ 社会参画意識の醸成と働くことの意義の理解

『楽しい学校生活』は、読むことで自分で課題意識を見つけることができたり、記録することで成長を確認したりできるので、頑張ろうとする意欲を自然と高められます。

実践者 Interview

『楽しい学校生活』を 導入したきっかけは？

新教育課程で示された目指す資質・能力や育成を図る学習過程、主体的・対話的で深い学びが実現できます。また、新設された学級活動(3)の実践の充実を目指しました。先生方の課題である「どのように実践すればよいのか分からない」という悩みも解決することができます。

『楽しい学校生活』を どのように活用していますか？

学級活動(1)では、主に事前活動で活用し、学級活動の意義や活動の仕方を理解し、自分の意見を考えます。学級活動(2)(3)では、資料を活用し授業実践に取り組んでいます。また、朝の時間「学級の日」では、学校行事等について全学年統一した指導に取り組んでいます。

今回紹介いただく 実践のポイントは？

キャリア教育の充実を図るために学級活動(3)の実践の充実が重要です。本実践では、用務員さんの清掃への思いを知り、「なりたい自分」について自分の願いをもち、可能性を探りました。一連の活動を通して、自信を深めたり、さらなる課題解決に取り組もうとする意欲を高めたりすることができました。

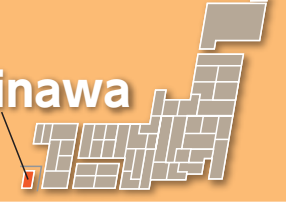
『楽しい学校生活』を導入以降、 どのような変化がありましたか？

各内容や学校行事の実践を充実することができ、児童に自分たちの力で実践する力が身に付きます。また、学年ごとで系統的な指導ができ、資質・能力の育成に効果的です。実践に向け、見通しをもったり、振り返ったりすることで主体的に取り組む姿が見られるようになりました。

[学校情報]



おきなわ けん な は し りつ まつ がわしょう がっ こう
沖縄県那覇市立松川小学校
●創立：1952年(昭和32年)
●校長：狩俣直美 先生 ●児童数：473名 ●学級数：19学級
●教育目標：自ら学び みんなとともに伸びる 心豊かでたくましい子
●学校の特色：首里城に近く那覇市を一望できる小高い丘に立地し緑豊かな学校です。「感謝」「笑顔」「学び」が溢れる学校を目指し、自己有用感を高める様々な活動に取り組んでいます。



どうしてそうじをするのかな？



●ねらい

清掃の大切さや働くことの意義を理解し、清掃活動における自己の課題を振り返り、よりよい取り組み方を目指して取り組んでいきたいことを意思決定することができる。

使用教材 『楽しい学校生活4年』(文溪堂)
「ピカピカそうじ大作戦」42・43 ページ

1 つかむ

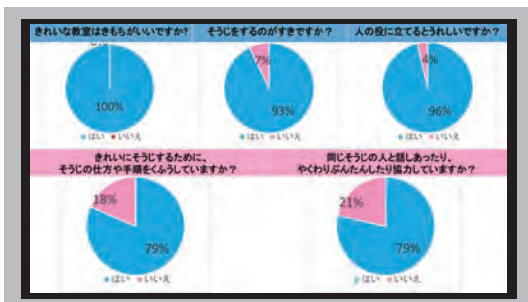
課題の把握

🕒 7分

自分の清掃活動の取り組み方について振り返り、できていることや努力が必要なところがあることなどに気づき、課題意識をもつ。

- ◎グラフを参考にして自分の清掃への取り組み方を振り返って、できていることや、まだ努力が必要なことは何ですか。
- ・掃除の仕方や手順を工夫している。
- ・役割分担をして、協力してする部分では、もう少し努力が必要。

- ◎清掃の時間に心掛けていることはありますか。
- ・自分の担当の仕事が終わったら、ほかの人を手伝っている。



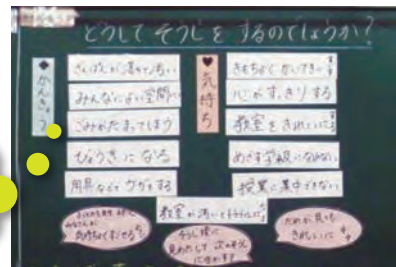
2 さぐる

原因の追求

🕒 42分 🕒 15分

清掃活動の意義について考え、その考えを整理することを通じて、自分の意識や行動について改善の必要性を感じる。

- ◎どうして掃除をするのでしょうか。
- ・ごみがたまって病気になってしまうから。
- ・みんなが気持ちのよい空間にするため。
- ・掃除をして褒められるとうれしいから。



環境と気持ちに分けて考えると、分かりやすいね。

清掃活動への意識を考えさせるときに、『楽しい学校生活』の例を参考にしました。



私たちのことを考えて、一生懸命に働いてくれているのだな。

★用務主事さんのインタビュー動画を視聴し、掃除の大切さや人のために働くことの喜びなどに気付かせる。



3 見つける

意見交換

🕒 43分 🕒 16分

よりよい清掃活動への取り組み方や、これまで以上に清掃活動に取り組む「なりたい自分」になるためにできることなどについて、小グループや学級全体で話し合う。

- ◎掃除をレベルアップをするために、どのようなことに頑張りたいですか。3人グループになって、話し合しましょう。
- ・教室の隅までしっかり掃除する。
- ・役割を分担して、効率よく取り組む。
- ・掃除の最後に、きれいになっているかどうかを確認する。

★小グループや学級全体での話し合いを通して、「なりたい自分」を追求するためにできることなどを広げる。

★事前に書いた学級会日記を見て自分のよさや課題を振り返りながら話し合う。



みんなで協力して掃除に取り組むことができるといいね。

話し合いで分かったことや気付いたことについて、『楽しい学校生活』にメモを取らせました。

4 決める

意思決定

🕒 43分 🕒 7分

具体的で実現可能な個人目標を設定=意思決定を行う。それを発表し、友達の目標を知って称賛したり友達から称賛されたりすることで実践への強い意思をもつ。

- ◎今後の清掃活動で頑張りたいめあてを決めて、発表しましょう。
- ・グループの人と役割分担をして、みんな協力して自分の役割を頑張りたい。
- ・掃除後に、きちんとできているかの確認をする。
- ・協力して取り組むために、一人一人の意見を聞いて掃除に取り組むたい。



自分の掃除が終わったら、手伝うことがあるか友達に声を掛けます。

意思決定したことを『楽しい学校生活』に記録させました。

★授業の最後に、児童のために学校の環境美化に取り組む「学校ボランティア」の仕事を動画で紹介。自分の決めたことの実現を目指して清掃活動に取り組んでいくように励ましの言葉を掛ける。

成果

- 学級や学校のために友達と力を合わせて働くことの意義を、清掃活動を通して理解することができた。
- 児童が自分でよりよい取り組み方を考え、工夫しながら活動に取り組むことができるようになった。
- 『楽しい学校生活』を活用することで、児童自身が自らの清掃活動を振り返り、新たな課題を考えて意思決定することができた。また、一連の活動を日常的に積み重ねることで、児童が自分自身の成長を実感し、課題解決への意欲を高めることができた。

児童の記録

- ・役割を分担して、いろいろなところをしっかりと綺麗にできるようになりました。次は、もっとスピードを上げることができるようになりたいです。
- ・みんなで気持ちよく授業を受けられるように黒板や黒板消しをきれいにすることや、担当の仕事が終わったら机を移動することが、当たり前になるようになりました。
- ・みんなが取り出しやすいように、かさをきれいに並べるようになりました。便利になってよかったです。

具体的で、実現可能なめあてを立てて、『楽しい学校生活』に記入します。そのめあてに沿って実践します。



自分のめあて
ちゃんとしみずみまでする
そのためだけにすまのこタイムをみる。

自分のめあて
たかかじとつくむためにみんなの意見を聞く。



みんなで協力して役割分担を工夫し、一人一人が自分の役割を果たす姿が見られます。

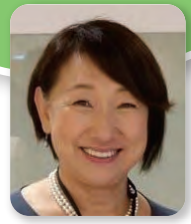


みんなの場所をきれいにする掃除活動の意義を理解し、児童が新しい課題を見つけて協力して取り組んでいます。

学校紹介 インタビュー 【東京】

全学年 学校行事

学校行事における事前・本時・事後の一連の活動に対する教師の働き掛け



東京都八王子市立浅川小学校長
清水弘美 先生

「運動会を成功させよう」
健康安全・体育的行事

学級活動や学校行事を始め、特別活動の諸活動を充実するために、児童に向けた各活動についてのオリエンテーション資料として活用しています。若手の教師も安心して指導を行うことができます。

実践者 Interview

『楽しい学校生活』を導入したきっかけは？

本校は特別活動を軸に学校経営を行っています。特別活動には教科書がないために指導内容が教員の経験に左右されやすい状況にありました。そこで、学校全体の特別活動の取り組み方を統一し、児童に育てたい資質・能力がぶれることなく指導できるように、全校で導入しました。

『楽しい学校生活』をどのように活用していますか？

教材には特別活動の全ての内容が扱われているので、この一冊に沿って取り組むことで教員が安心して指導に当たることができます。主にオリエンテーションに活用しています。
また、活動方法などで児童自身が分からないことがあったときに、自由に見られるように教室に常設しています。
簡単に振り返りなどを書いて、活動の記録を残すことができるのも便利です。

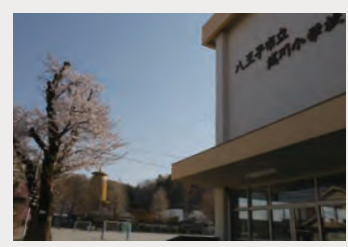
今回紹介いただく実践のポイントは？

本校では、学校行事を通して、児童に活躍の場をつくったり、学校づくりに貢献したりすることの価値を伝えるという統一の目的を、教師も子供も共通理解して取り組んでいます。児童が何のための活動かを理解し、自分自身の成長を確かめ、次へとつなげていくという丁寧な活動を、事前・本時・事後を通して行う大切さについて紹介します。

『楽しい学校生活』を導入以降、どのような変化がありましたか？

これまで、特別活動の適切な指導方法が分かる教師が少ないという課題がありましたが、『楽しい学校生活』に沿って指導することで、児童への指導が過不足なく行えるようになり、教師の負担が軽減されました。また、児童にとっては「何のためにこの活動をしているのか」という目的・目標が明確になり、活動意欲が高まっています。

【学校情報】



とうきょうと はち おう じ し りつ あさ かわ しょうがっ こう
東京都八王子市立浅川小学校
●創立：1873年(明治6年)
●校長：清水弘美 先生 ●児童数：630名 ●学級数：19学級＋特別支援1学級
●教育目標：役にたつ喜びを知る子 ～のびる、つながる、のりこえる～
●学校の特色：150年近い歴史があり、祖父母の時代から3世代で通っているという児童も多い。22の町内会と関わり、祭りや町内運動会など、学校がその中心的な役割を果たしている。

運動会を成功させよう



1 事前指導 (オリエンテーション)

課題の把握

50ページ 1時間

(1) 運動会のねらいや活動の意義を確認する

◎運動会には、どのような目的があると思いますか。

- ・自分の目標に向かって努力する力を付けたり、自分の仕事を責任をもってやり遂げて、みんなのために活躍できる力を付けたりすることです。
- ・互いに協力して、楽しい時間を過ごし、もっといい学級・学校をつくっていくことです。

(2) 運動会の日時を伝達する

(3) 個々の児童の役割を確認する

- 個人種目(徒競走)・団体種目(騎馬戦)・表現(集団行動)などでの役割
- 高学年では運営上の役割(放送・用具・審判・得点など)

(4) 当日までの見通しを確認する

- 練習日程
- 係の打ち合わせの日程

『楽しい学校生活』を使いながら、全員で確認をしていきました。



●ねらい

運動会を通して、一人一人が自分の力を十分に出し切るとともに、集団のために活躍して、役に立つ喜びを味わう。

使用教材 『楽しい学校生活4年』(文溪堂)

「運動会をより楽しくするために」50・51ページ

2 当日までの活動

準備・練習

50・51ページ

(1) 自分たちの競技の練習

○体育の授業の中でも、自分の目標に向けて主体的に練習する。

(2) 自分の役割の見通しと準備

- 仕事ごとに担当者から説明を受け、仕事の内容を把握する。
- 仕事分担に応じて、仲間と相談しながら準備や練習を進める。

(3) 全校での練習

- 異年齢の中での上学年としての自分の役割を自覚する。
- 上学年の行動に着目し、上学年から学ぶ。

運動会で使用する用具の使い方を説明します。



休み時間を使って、自分が担当の仕事をしっかりやろう。

児童が自分たちの活動を考えていく際に、『楽しい学校生活』を参考にしたり、その中にメモを書き込んだりして、意欲の継続に役立てました。



3 当日の活動

運動会本番

50ページ 16分

(1) 自分のめあてを確認する

◎『楽しい学校生活』に記入した、運動会での自分のめあてを確認しましょう。

- ・最後まであきらめずに走る。
- ・下級生が困っていたら、自分から声を掛けて、助けてあげる。
- ・友達と協力して、用具係の仕事を頑張りたい。

(2) 全力で取り組み、教師や友達と楽しい時間を過ごす



低学年の見本になるよう、高学年の役割をしっかりやろう。



みんなのためだから、応援団はやりがいがあるよ。



演技がびしっと決まったね。家の人は見てるかな。

振り返りで『楽しい学校生活』に使えるように、児童の様子を写真に撮りました。

4 事後指導

振り返り

51ページ 7分

学級、係ごとの振り返りの時間をつくり、短時間で振り返りを共有し、記録をする。

◎運動会で自分が頑張ったことや、友達のよかったところなどを振り返って、発表しましょう。

- ①自分のこと
→自分の目標をどの程度達成したか。
- ②友達のこと
→友達はどのような活躍をしていたか。
- ③みんなのこと
→係の仲間や学級・学校はどのような集団であったか。
- ④今後の活動に生かすこと
→運動会でやり遂げたことや身に付けたことを、今後どのような形で生かしていくか。

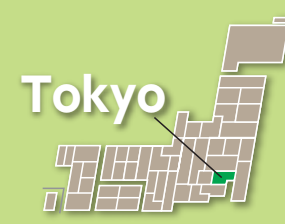


来年は、1年生のお世話もできるようになりたいです。



当日の写真などを見ながら振り返り、各自で『楽しい学校生活』に記録させました。

ポートフォリオ & 成果紹介



成果

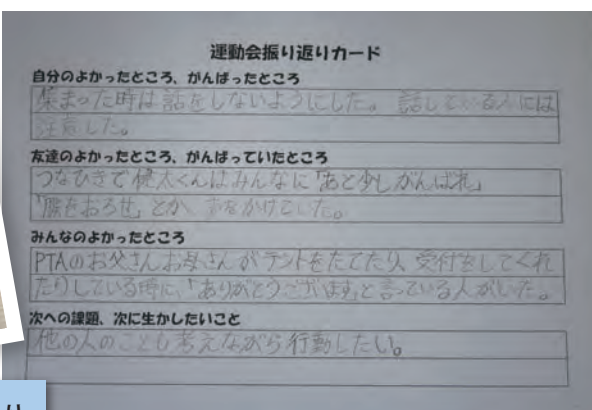
- 各学年で系統性のある指導を行うことができ、全校での運動会の価値の理解が深まった。
- 一人一人が自分のめあてを明確に主体的に取り組むことができた。
- 『楽しい学校生活』にはどの学年にもめあてカードと達成カードがついている。全学年で取り組むことができたことで、来年度へのつながりを意識することができた。
- 踊りの図や係の仕事のメモなどは、『楽しい学校生活』巻末の「思い出ポケット」に挟んでおくことができ保存しやすい。

児童の記録

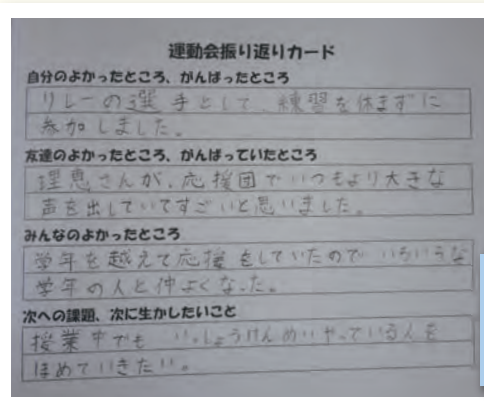
- 全校大玉のときに1年生が大玉に触れる場所に立たせてあげた。縦割り班の活動でも、下級生のことを考えて行動したい。
- 閉会式では、みんなきちんと並べていたし、いつもより大きな声で歌っていた。これからはどんなことにも全力で取り組んでいきたい。



周りに声を掛けたり、PTAの方々へに感謝したりする友達の姿を見て、ほかの人のことを考えて行動したいという意欲を高めていた。



運動会を通して、互いの頑張りを認め合うことの大切さに気付いていた。さらに、授業中でも友達のよさを見つけていこうとする姿勢が見られた。



紹介した地域や実践のほかにも、 全国からたくさんの喜びの声や ご要望が届いています!!

ありがとう
ございます!



福岡県直方市立
下境小学校教諭
3年担任 桑野美咲先生

児童が自身の成長をポートフォリオとして記録し、蓄積する手段として有効で、特別活動の指導と評価が残る一冊です。この教材は、児童はもちろん、指導経験が浅い先生にとってもバイブルとなりました。

学校全体で『楽しい学校生活』を活用するに当たって、年間指導計画を見直しました。これまで特別活動をどのように進めてよいか分らなかった教師が多かった本校にとって大きな成果になりました。児童にとっても教師にとっても学級活動がより身近なものになっています。



東京都世田谷区立
松沢小学校教諭
6年担任 吉井貴彦先生

係と当番の違いを児童に理解させるときに役立ちました。
3年担任 男性

これまで遠足や避難訓練の振り返りに活用できる教材がなかったので便利でした。
2年担任 男性

振り返りのワークシートを作成する手間が省けて、授業準備が楽になりました。
4年担任 男性

活動場面などの具体的なイラストや写真があり、使いやすく感じました。
2年担任 女性

保護者面談で、児童が書いたものを保護者と一緒に笑顔で見ました。学校と家庭をつなぐものとしても有効だと思います。
4年担任 女性

児童の生活の記録を残しておけるのがいいですね。個人ファイルの代わりに使っています。
5年担任 女性

新しく入った学級活動(3)の指導法についてよく分かりました。校内研修でも活用して共通理解を図っていきます。
5年担任 男性

ボリュームとバリエーションが豊富でよい反面、使い切れない面もありました。もっと有効活用したいです。
3年担任 男性

学級での話合いで、掲載されている話合いのポイントを参考にしました。
4年担任 女性

帰りの会で、学校行事の事前指導に使えるページを活用しました。短い時間でも自由に使えるのがいいですね。
3年担任 男性

イラスト等が多くて、入門期の学級会の導入などに役立ちました。
1年担任 女性

1年生の振り返りは「☆」マークに色を塗るだけなので、負担が少なく良かったです。1年担任 男性

議題の決め方や話合いのまとめ方などは、教師が読んでも勉強になりました。6年担任 男性

次のページは
世界の
TOKKATSUの
紹介です。

うちの学級の児童は話合いの経験が少なかったもので、内容が難しかったようです。もっと学級の実態に合わせて使えるとうれしいです。
4年担任 女性



世界中から注目を集める日本型教育

TOK KATSU



学級会, 学校行事, 清掃活動など, 非認知スキルを育成する日本特有の教育活動。
戦後の日本の教育をロールモデルに, アジアの発展途上国が「特別活動」を取り入れ始めています。

Egypt



エジプト

友達のために
何ができるか
学級会で
話し合おう

決める

比べ合う

出し合う



アラビア語で書かれた
学級会の板書



コの字型の座席と,
前方には司会グループ

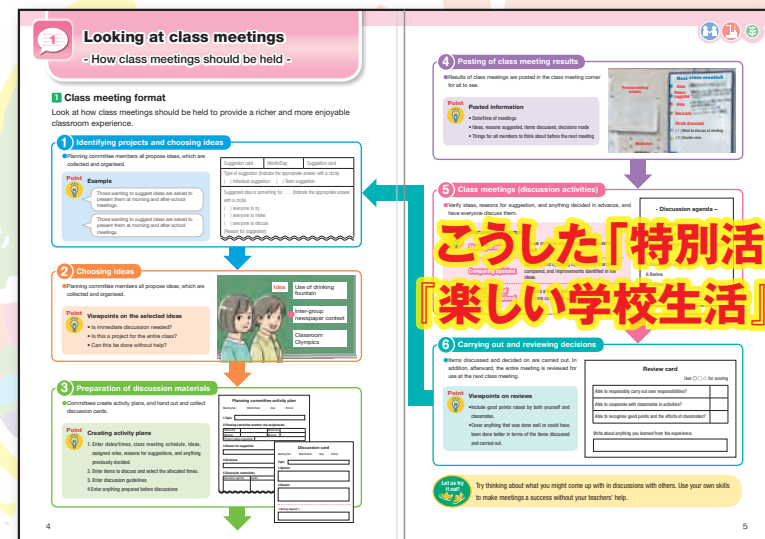


日本型教育の指導者を
育成するマスターコース

自分たちの
学級の
掃除を
しよう



罰ではない, 教育活動と
しての清掃活動



▲「楽しい学校生活」英訳版

モンゴル

Mongolia



勉強の成果を発表する
日本語学習発表会

インドネシア

Indonesia



東京大学で TOKKATSU
シンポジウムを開催

楽しい 学校生活

1～6年

監修

國學院大學教授／
前文部科学省初等中等教育局視学官
杉田 洋



▲4年の表紙



規格

	児童書	教師用指導書【付録】CD-ROM
判型	A4判	A4判
色数	4色オールカラー	2色
ページ数	64ページ	32ページ
定価	550円+税	1,600円+税

表紙について

- 友達と楽しく協力しながら活動し、「人間関係形成」を図る姿
- 学年が上がるごとに学校から世界、そして宇宙へと「社会参画」の舞台を広げていく姿
- 汽車の模型(1年)を銀河鉄道(6年)へと発展させるように、夢を追いかけて「自己実現」する姿

特別活動で育てる資質・能力を整理した3つの視点を表現し、「子供たちが将来への希望をもち、周りの人と協働してよりよい社会をつくっていくるように」という願いを込めました。 [イラスト 伊東恵美]

この1冊で特別活動の
すべてが分かる!!

特別活動指導資料

みんなで、
よりよい学級・
学校生活をつくる

特別活動

小学校編

目標に関する詳しい解説から具体的な実践、授業展開まで、特別活動の全てがこの1冊で丸分かり。オールカラー、分かりやすい図表やイラストが豊富な「特別活動の虎の巻」です。

A4判／128ページ
定価：1,320円(税込)

【著作権所有】
文部科学省／
国立教育政策研究所
教育課程研究センター
【発行】株式会社文溪堂



道徳と特別活動を扱った
日本で唯一の教育誌

心をはぐくむ……

隔月刊

道徳と特別活動

道徳教育・特別の教科 道徳、特別活動の普遍的な課題、最新の動向などに理論と実践の両面から迫ります。

- 隔月刊(奇数月15日発売)
- 判型：B5判
- ページ数：96ページ
- 各号1,090円(税込)
- 年間購読料／6,540円(税込)

- 1冊1冊が完全保存版
- 学校に置いておきたい若手指導の指南書



● 特約代理店



株式会社文溪堂

東京本社 東京都文京区大塚3-16-12 〒112-8635 TEL (03) 5976-1311(代)
岐阜本社 岐阜県羽島市江吉良町江中7-1 〒501-6297 TEL (058) 398-1111(代)
大阪支社 大阪府東大阪市今米2-7-24 〒578-0903 TEL (072) 966-2111(代)

ホームページ <https://www.bunkei.co.jp>